

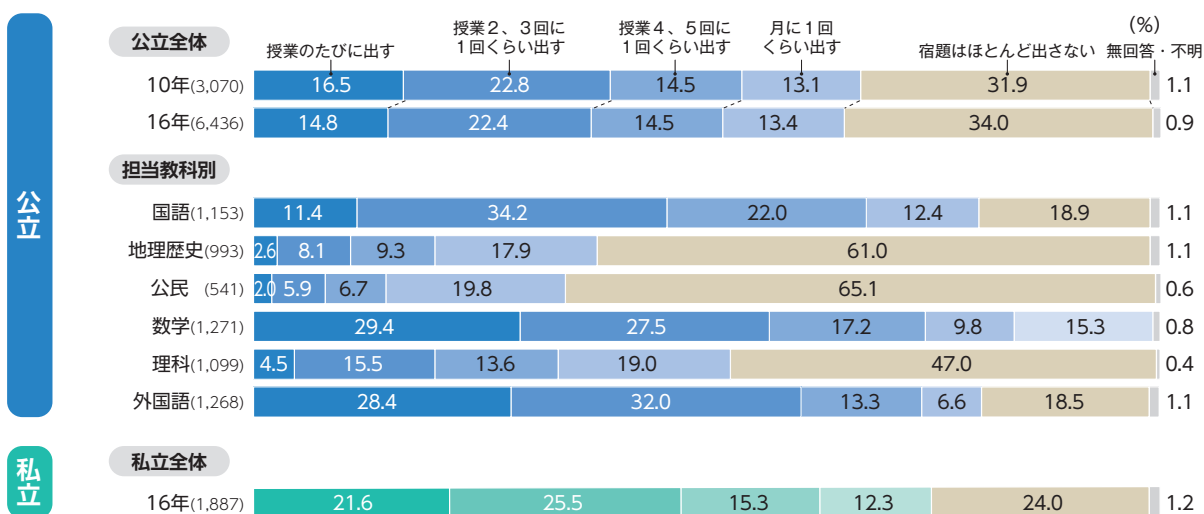
3-1 宿題

宿題の頻度が高いのは「数学」「外国語」で、「授業のたびに出す」が3割。

宿題の頻度についてたずねたところ、「宿題はほとんど出さない」が34.0%で最も高く、次に「授業2、3回に1回くらい出す」が22.4%で高い(公立)。経年ではほとんど変化はみられず、担当教科別には「数学」「外国語」で高い。また、宿題の時間は「30分」がもっとも多く、こちらも経年の変化はほとんどみられない。さらに、入学時の学力水準別にみると、学力の高いAグループでは「1時間」がもっとも多く、B～Dグループでは「30分」がもっとも多くなっている。

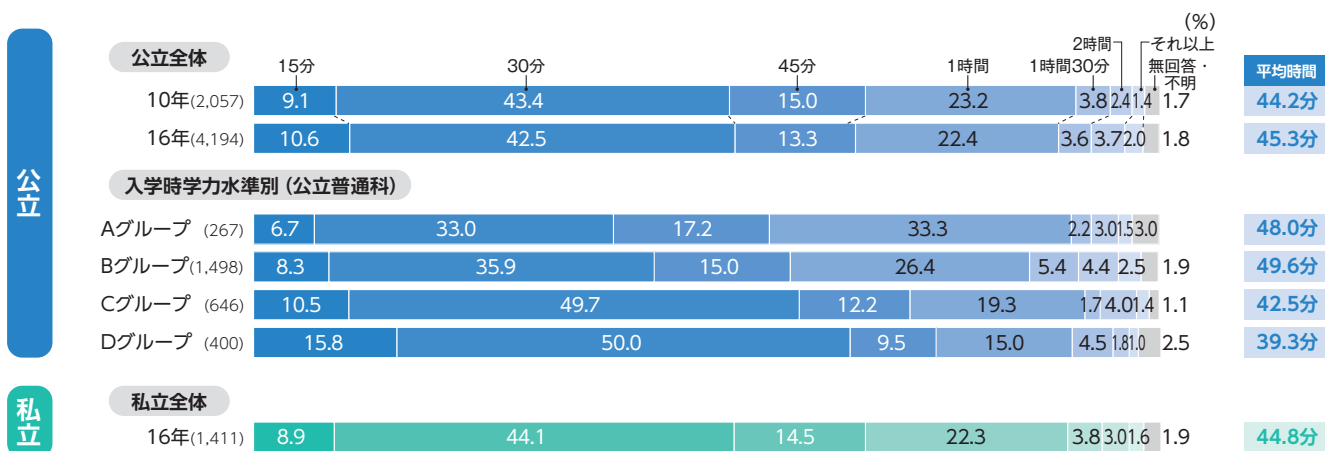
Q あなたは、どのくらい宿題を出していますか。

図3-1 宿題の頻度(経年比較(公立全体)、担当教科別(公立全体)、私立全体) **高校** **教員**



Q (「月に1回くらい」以上出すとの回答者対象)
あなたが出す宿題は、平均的な生徒にとってだいたい1回何分くらいの量になりますか。

図3-2 1回あたりの宿題の時間(経年比較(公立)、入学時学力水準別(公立普通科)、私立全体) **高校** **教員**



注1)宿題を「授業のたびに出す」～「月に1回くらい出す」と回答した教員のみ対象。

注2)平均時間は、「15分」を15分、「2時間」を120分、「それ以上」を150分のように置き換えて無回答・不明を除外して算出した。

注3)入学時学力水準は、「貴校に入学した平均的な生徒の中学校時代の成績(評定平均)」に対する校長回答による。評定平均はAグループ4.5～5.0点、Bグループ3.5～4.0点、Cグループ3.0点、Dグループ1.0～2.5点として公立普通科について分類した。

3-2 学習計画の指導

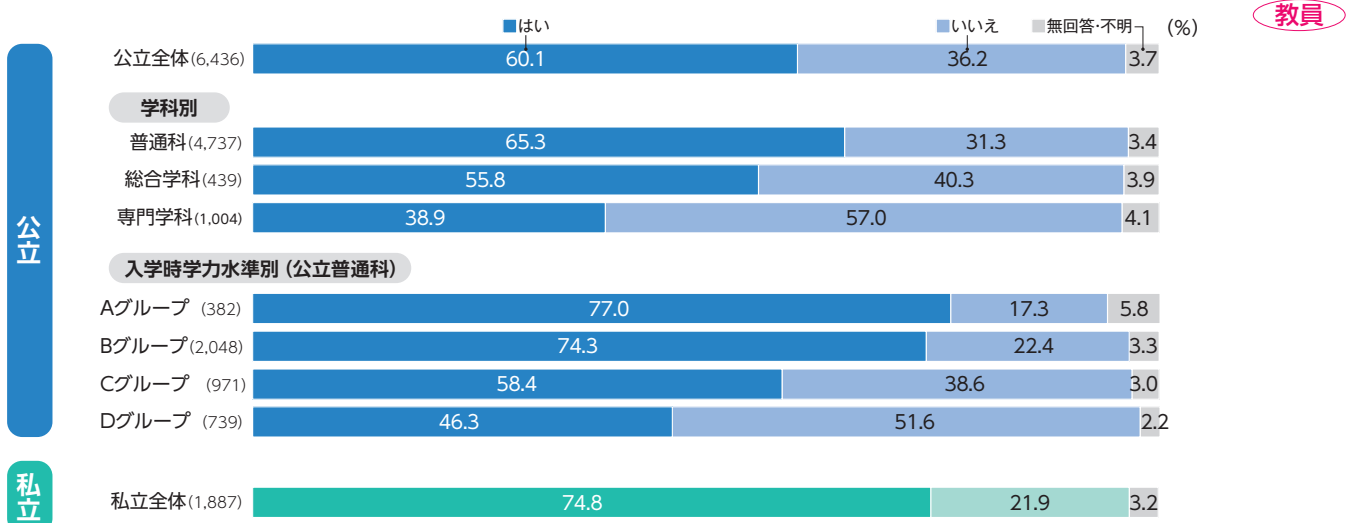
6割以上の高校教員が学習計画を立てる指導を行っている。

学習計画を立てる指導をしているのは公立の教員の60.1%、私立は74.8%であった。学科別には普通科、入学時の学力水準別には、学力水準が高いほど指導をしている割合が高い。指導内容としては、学習計画書の配付はせずに「自分で計画を立てよう指導している」がもっとも多く、どの学科でもどの学力水準の学校でももっとも多い。次いで多い項目には属性別に違いがみられ、学力水準別ではA・Bグループで、「学習計画書を定期的に配付して提出させている」、C・Dグループでは「テスト前の期間だけ学習計画書を配付して提出させている」が高い。

Q

あなたまたは貴校では、生徒に対して学習計画を立てる指導をしていますか。

図3-3 学習計画の指導の有無(公立全体、学科別(公立)、入学時学力水準別(公立普通科)、私立全体) **高校** **教員**

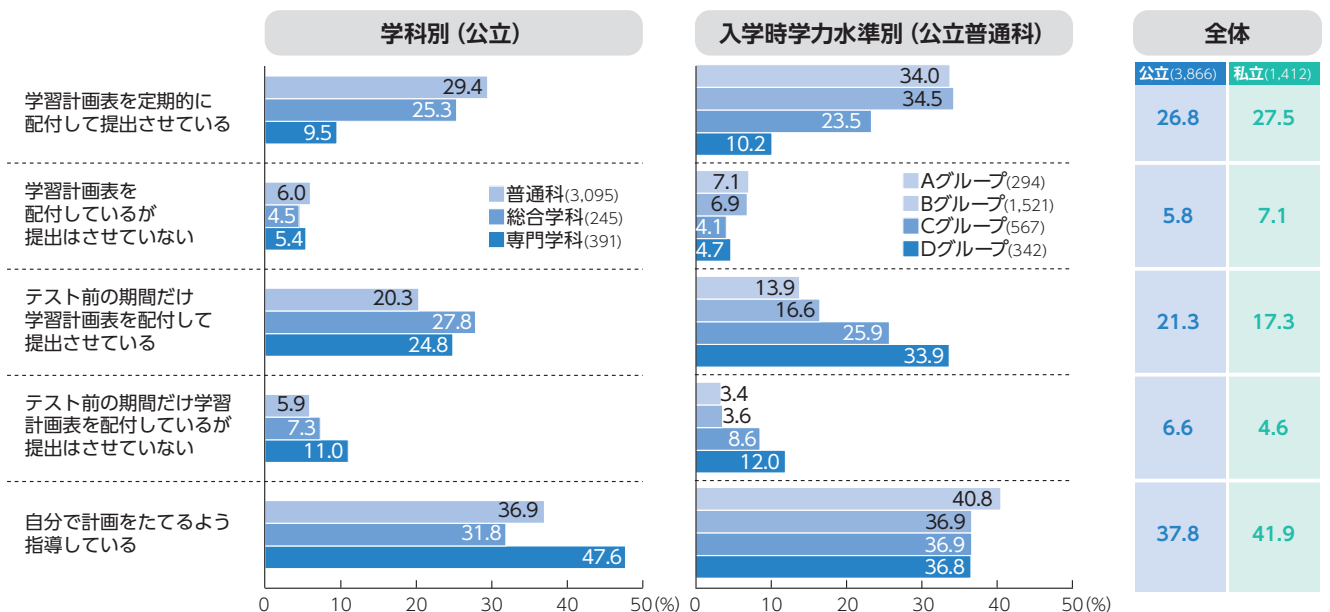


注1) 入学時学力水準は、「貴校に入学した平均的な生徒の中学校時代の成績(評定平均)」に対する校長回答による。評定平均はAグループ4.5~5.0点、Bグループ3.5~4.0点、Cグループ3.0点、Dグループ1.0~2.5点として公立普通科について分類した。図3-4も同じ。

Q

(「はい」(指導をしている)との回答者対象) どのような指導をしていますか。あてはまる番号1つを選んでください。

図3-4 学習計画の指導内容(学科別(公立)、入学時学力水準別(公立普通科)、公立・私立全体) **高校** **教員**



注1) 学習計画の指導の有無について「はい」と回答した教員を対象。注2) 無回答・不明は省略した。